ＬＣＣ　９月例会　議事録

開催日　平成２３年９月２６日（月）　１８時３０分より
場所　同志社大学大阪サテライトキャンパス
担当　広報委員会
司会　事務局長　榎本　時一
参加者　２５名

＜第一部＞

1. はじめに　　広報委員会委員長　下村 敏和

皆さん、こんばんは。前回が7月22日の開催でしたので、約2ヶ月ぶりの開催となります。本日は3つのテーマをご用意いたしました。

1つ目は「関西における IT 事情と IT 投資に求められるもの」、2つ目は「同志社ホームカミングデーのリニューアル」、3つ目は「事業承継における遺言の書き方」、この三本立てで行こうと思います。

それではまず最初のテーマが「関西における IT 事情と IT 投資に求められるもの」ということで、関西情報・産業活性化センターの山嵜様と布施さまにお話頂きます。よろしくお願いいたします。

2.「関西における IT 事情と IT 投資に求められるもの」

（財）関西情報・産業活性化センター　専務理事　山嵜 修一郎　様
事業推進グループ　布施 匡章　様

只今ご紹介に預りました、関西情報・産業活性化センターの山嵜と布施でございます。よろしくお願いいたします。貴重なお時間頂きましてありがとうございます。

（1）KiiS とは？・・・山嵜様より

KiiSとは、財団法人 関西情報・産業活性化センター（Kansai Institute of Information Systems ＆ Industrial Renovation）の略称です。1970年、丁度大阪万博の年の5月に設立しました。事業としては、調査研究、普及・啓発、ビジネスの支援、政策支援、個人情報保護などを行なっており、具体的なプロジェクトとしては以下の通りです。

- ・e-Kansai レポート　　・IT シンポジウム「インフォテック」
- ・関西 CIO カンファレンス　　・情報家電ビジネスパートナーズ
- ・関西新エネルギービジネス創出ネットワーク　　・e 相談所
- ・プライバシーマーク審査　　・プライバシーマーク審査委員補修　　等

今回はその内のひとつである「e-Kansai レポート」について、詳しく説明します。

(2)e-Kansai レポート概要報告・・・布施様より

e-Kansai レポートは、関西地域の情報化の動向を多角的に分析た報告書です。調査方法は、アンケート調査並びに、ヒアリング調査を実施しております。今回はアンケート調査からの結果を報告させて頂きたいと思います。

これまでの概要としては、2005年関西情報化実態調査。そこから3年間、企業、自治体、また、医療、教育、関西地域のその他情報産業の点から、どの様に IT が使われていて、どこが課題なのかということテーマに分析しました。そして3年後に出されたのが e-Kansai レポート2008です。そして、効果的・効率的な IT 投資、また、どんな評価の指標がいいかという視点から、また3年間更に IT 人材育成について調査しまして、本年度出ましたのが、e-Kansai レポート2011です。この中身を本日は簡単に紹介させて頂きます。

まず、調査の出発点は「IT 投資の効果が分かりづらい」というものでした。「IT 投資をよくやっている、しかしそれで売上が伸びたからといって、IT のお陰なのかどうか？」という疑問を実は経営者の方々が見えていないというのが、特に中小企業によく見られました。IT が上手く利用出来ていないのは、組織の問題があるのではないかということに、IT に明るい方々は気付いておりまして、いわゆる CIO という会社全体の情報を統括する、「IT を見れる」人ではなく「IT を見れるようにする」人が必要なのではないかという議論がありました。

本日の調査報告としましては、IT 投資と IT 人材の2点から、お話させて頂きます。

<u>本日の調査報告</u>

大変内容の濃いお話でしたので、ここでは主なトピックをご紹介いたします(編集記)。

詳しくは、KiiS 様の HP で e-Kansai レポートが公開されておりますのでご確認下さい。

http://www.kiis.or.jp/research/e-Kansai/

・IT 投資

－IT 投資効果につながる IT 経営力

－IT 経営　次の一手へのヒント

・IT 人材

－求められる IT 人材

－育成方法(提言)

<u>最後に、KiiS からのまとめと提案</u>

KiiS の IT 投資・IT 人材育成についての考えを紹介します。

まず、IT 投資の観点から、中堅・中小企業様がこれから IT 投資を始める、改めて始めるという時に考えてもらいたいIT投資のモデルイメージを紹介します。IT 投資によって上手くいっているという会社に話を聞くと、だいたい最初は IT におけるコスト削減、その後で増収益をしています。はじめにコストを減らして、余った分を新しい投資にあてるというイメージです。IT 投資が出来ている会社

は全体の予算の1％以上を IT 投資に回していることが多いです。IT 投資をするにあたっては、やはりシステム基盤の標準化、統括的な管理・運営からの、運営コストの削減ということを考えるべきです。システム基盤全体を見て、IT 戦略というものを自分の会社の立ち位置を見て、会社の戦略を考え、それに沿った IT を入れるという、IT 戦略の立案があってこそ出来るのであって、闇雲に IT を入れるべきではない。その次は、削減出来た分を使って更に0．5％を戦略的に増やします。それこそ、評価の基準を定めて、投資対効果というのを把握出来ているか、ということまで考えながら、人材育成をしていくべきです。

IT 人材はどうやって育成したらよいのか？IT 人材というのは、プログラムが出来る、サーバーがいじれるという所謂理系の PC オタクのことではなく、今や新しいものを生み出すための、イノベーションを会社にもたらせる者のことである。となると、やはり経営企画部にいる人材こそが IT 人材であるという会社もあったぐらいで、経営企画力というのが求められる。会社・業種を越えて、外部セミナーや合同研修など色んな色んな会社とのつながりを作るのが、IT 人材育成であり、これはつまり、次の時代の経営者の育成につながる。IT 人材というのは、次の会社を担う人にさせるべきなのです。

Q&A ・KiiS への企業の相談というのは出来るのか？

―はい。費用も発生しません。その様な機会を持ってもらうための仕組みが e 相談所や関西 CIO カンファレンスというものです。

・海外との連携はあるのか？

―いくつかの企業で海外の拠点も併せて世界的なシステムを統制している会社もあります。

※今日お話した e-Kansai レポートについては、KiiS で無料で配布しています。

3.「同志社大学ホームカミングデー リニューアルについて」

同志社大学ホームカミングデー2011実行委員長 杉岡 秀紀 様

皆さんこんばんは。只今ご紹介に預りました杉岡でございます。本日は限られた 20 分程度の時間ですが、今年度の同志社ホームカミングデーのご紹介と諸先輩方へのお願いをさせて頂こうと思います。

まずは、自己紹介で同志社大学との絡みをお話します。大学時代にはまちづくりの NPO を立ち上げ、課外イベントとして、フレッシュマンキャンプ・スポーツフェスティバル・同志社京田辺祭の発起などに関わりました。その後、半年ほど同志社大学産学連携支援ネットワークに勤務し、内閣官房行政改革推進本部事務局内閣事務官として政府のもとで勤め、その後は同志社の方に帰って来て、講師をしながら様々な活動に取り組んでいます。

1．昨年までのホームカミングデーの課題

①「同志社人＝卒業生だけ」の学生がいないイベント

②「大学から卒業生だけ」で双方通行性のないイベント

③「マンネリ化した固定プログラム」でワクワク感のないイベント

2.リニューアルの方向性・ミッション

①「ない」を「ある」に変えるために、「実行委員会」を組織化　＜脱事務局主導＞

②not only「卒業生」, but also「在学生」　＜all 同志社＞

③「志（ここ）」に帰り、志（ここ）に始まる　＜同志社内「温故知新」＞

3. 具体的なリニューアル内容

①時代性を反映したプログラム　ex) 同志社紫熱教室、東日本大震災ボランティア活動報告

②若手 OB・OG が参加出来るプログラム　ex) ben-k を探せクイズラリー

③同志社(新島）精神を感じるプログラム　ex) 志コンテスト、チャペル、新島八重

④誰でも楽しめるプログラム　ex) One Purpose café、スポーツで繋がる同志社

⑤その他　ex) 東日本大震災被災学生見舞金募金、サプライズゲスト

4. 今後の方向性について

①新町キャンパス、新キャンパスの活用

②京田辺版ホームカミングデーの立ち上げ、同志社 EVE との連携

③日常としてのホームカミングデーの仕掛け（同志社県人会の復活）

5. LCC の皆様へのお願い

①当日ご来場頂きたい

志コンテスト、One Purpose Café など、在学生と OB・OG が繋がるイベントに足を運んでほしい。

②広報協力のお願い

皆様の莫大なネットワークを活かして、是非とも口コミで HCD のことを広めて頂きたい。同志社 OB・OG の皆様に、「同志社の HCD が変わるらしい！」と告知して頂きたい。

③募金についてのお願い（事前／当日）

当日の来場人数 5,000 人を目指しています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします！

榎本事務局長より

前副学長の片山様から協力のご依頼があり、LCC 名義で 10 万円の寄付をいたしました。ご理解の程お願い申し上げます。また、LCC は校友会大阪支部の下部組織であるので、次回からは校友会大阪支部を介して依　頼して頂くようお願い申し上げました。

更に、9／13（火）の NPO 法人同志社大学産学官連携支援ネットワーク様との共催セミナーにおいて募ったところ、24,050 円集まりました。こちらも NPO と LCC の連名で寄付いたしました。

本日も募金箱をご用意しておりますので、金額は問いませんのでご協力お願いいたします。

4.「遺言のススメ」

弁護士　三輪　記子　LCC 会員

先ほどご紹介に預りました、弁護士の三輪と申します。中学・高校を同志社で過ごし、大学は東京大学の文Ⅰに進みました。卒業後は京都に戻り、弁護士をしております。

今回お話するテーマは「遺言」なのですが、ざっくりと簡単にお話しさせて頂きたいと思います。世間一般では「遺言」は「ゆいごん」と読みますが、専門的には「いごん」と読みます。本日は遺言について、いくつか注意点についてお話いたします。そもそも遺言書というのは、作っても作らなくてもよいのです。自由なのですが、何のために作るのかというと・・・不都合があった時のためです。

1. 遺言を作成しない場合

→相続人全員の話し合いで、相続財産が分割される。

→相続財産は法定相続分に従って、各相続人に相続される

2. 遺言を作成した場合

→遺言者の意志にもとづく財産処分が出来る

3. 遺言の作成時期

→50歳を過ぎて、ある程度財産があれば視野に入れることをお勧めする。

→遺言は何回も書き換えることが可能なので、定期的に財産を整理して書き直してもよい。

4. 遺言を作成する際に必要なこと

(1)相続人の確定　（胎児にも相続権がある。相続権のない人への遺贈も考慮）

(2)相続財産の確定　（財産には債務も含まれるので、要注意）

(3)遺留分についての考慮　（遺留分を侵害する相続割合を定めた遺言も法的に無効ではないが、後日紛争になる可能性がある。）

5. 遺言の方式

(1)自筆証書遺言

→自分で書いて、日付・名前などを書けば、有効な遺言として成立するかのように見えるが、偽造されたり、なくしたりする可能性がある。内容も法的に有効でない場合が多い。

(2)公正証書遺言

→一番効果があるお勧めの方式。公証人役場で作成して、公証人役場で原本は保管される。

裁判所での検認手続きも不要な為、一番効果の保持という意味ではよいと思われる。

(3)秘密証書遺言

→一応あるにはあるのだが利用は少ない。誰にも知られずに作成出来る。

但し、公証人役場で作らなければならず、家庭裁判所での検認手続きが必要。

作る時に公証人役場を利用するだけで内容は誰にも知られない。

6．遺言の作成費用

（1）定形的なもの

→費用は10～20万円

→典型的というのは作成される方の財産とか相続人の数にもよるので一概には言い切れないが、

事案の複雑さによる。

⑵非定形的なもの

→基本的なものであれは、財産の額が300万円以下であれば20万円の費用

→財産額が300～3，000万円以下の場合はその額の1％プラス17万円が費用

→財産額が3，000万円～3億円以下の場合は、全体の0．3％プラス38万円が費用

→財産額が3億円を超える場合であると、全体の0．1％プラス98万円が費用

→複雑な事案になると、最終的には弁護士と依頼者の相談になりますが、

公正証書遺言にしようと思って公正証書にする場合には、プラス3万円が必要

まだ遺言を作成されてない方は勉強させてやるつもりで是非ご相談下さい。あと、色々な活動をしておりますので、もしお時間ありましたらインターネットで「三輪　記子」で検索して頂くと、色々出てくると思います。よろしければ是非お願いいたします。ありがとうございました。

Q&A　・遺言書は何回書き換えてもよいと仰ってましたが、その書き換え毎に費用が必要なのか？

―弁護士との相談になりますが、基本的に一回目と二回目は労力が全然違いますので、

お値段は変わってくると思います。

5．連絡諸事項　　**事務局長　榎本　時一**

・初参加の方

睦月　陽子　様・・・・・・三輪弁護士の同級生。同志社は中高大と通い、卒業してから2年後に総合政策の研究科に入る。仕事は税理士をしている。今年の1月から自分の事務所を初めました。今日は会員の赤坂さんのご紹介で参りました。これからどうぞよろしくお願いします。

上岡　大悟　様・・・・・・テレビ新広島勤務。校友会広島支部幹事。途中退出。

西川　　修　様・・・・・・ファイナンシャル・ブレイン。花岡相談役のご紹介。

・CDB3周年　記念講演会＆出版記念パーティーのご案内　　LCC 幹事　小澤　康宏

CDB（コンソーシアム　D　ブレイン）は、LCC を含め同志社の関係の士業の中心に集まった団体で、私はそこで代表を勤めさせて頂いております。ワン・トップ・士業集団として、現在22～25名位で活動しております。月に1回会合しております。その中で CDB も3周年を迎えまして、これを記念しまして本を出版することになりました。その出版記念パーティーを開催、株式会社ホロニックの長田社長を招いてご講演頂きます。

＜詳細＞
日時:11月8日(火) 18:00～21:00
会場:ガーデンシティクラブ大阪(GCCO)
テーマ:「コミュニティとしてのホテル事業」
講師:株式会社ホロニック 代表取締役 長田 一郎 氏
会費:無料(記念出版本(定価:1800円)1500円のみ頂きます。

・LCC6周年記念行事について　LCC 会長 北出 至

来る11月6日(日)に、LCC6周年記念行事を行います。10:30～講演会、17:00～NPO 法人同志社産学連携支援ネットワーク様と懇親会を行います。あいだの時間は、ちょうど今出川キャンパスで行われているホームカミングデーで楽しんでいただけたら、と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

＜第二部＞

二次会が近くの会場で行われましたが、１３名の参加を頂き、いつもより規模は小さいながらもいつも通りの盛り上がりを見せる会となりました。お忙しい中参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

次回は、１０月１７日（月）に大阪サテライトキャンパスにて定例会を行います。

以上